

●3才から15才未満のお子様の、熱や痛みを緩和する、胃にやさしい解熱鎮痛薬。お子さまのためにのみやすさを考えたフルーツ味の小粒です。

## No26 ★小児用バファリンCII 16錠

### 第②類医薬品



#### 【効能 効果】

・悪寒・発熱時の解熱

・歯痛・抜歯後の疼痛・頭痛・打撲痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛

#### 【用法 用量】

・なるべく空腹時をさけて服用し、服用間隔は4時間以上おいてください。

11才以上15才未満・・・1回6錠、1日3回を限度とする

7才以上11才未満・・・1回4錠、1日3回を限度とする

3才以上7才未満・・・1回3錠、1日3回を限度とする

3才未満・・・服用しないこと

#### <用法・用量に関連する注意>

・小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

・3才以上の幼児に服用させる場合には、薬剤がのどにつかえることのないよう、よく注意してください。

・用法・用量を厳守してください。

#### 【成分】

(1錠中)

アセトアミノフェン・・・33mg

添加物：D-マンニトール、セルロース、CMC、サッカリンNa、サッカリン、ゼラチン、黄色5号、ステアリン酸Mg、香料

#### 【注意事項】

※本品は小児用ですが、解熱鎮痛薬として定められた一般的な注意事項を記載しています

##### ■使用上の注意

##### <してはいけないこと>

・次の人は服用しない

(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

・本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しない

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

・服用前後は飲酒しない

・長期連用しない

##### <相談すること>

・次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3)高齢者

(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(5)心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍の診断を受けた人

・服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、製品の文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談する

皮膚・・・発疹・発赤、かゆみ

消化器・・・吐き気・嘔吐、食欲不振

精神神経系・・・めまい

その他・・・過度の体温低下

※まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。(症状の詳細は説明文書を参照すること)

ショック(アナフィラキシー)・・・服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる

皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症・・・高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する

肝機能障害・・・発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる

腎障害・・・発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる

間質性肺炎・・・階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする

ぜんそく・・・息をすするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる

・5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、製品の文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談する

**【保管及び取扱い上の注意】**

- ・直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管する
- ・小児の手の届かない所に保管する
- ・他の容器に入れ替えない(誤用の原因になったり品質が変わる)
- ・使用期限を過ぎた製品は使用しない

**■お問い合わせ先**

こちらの商品につきましての質問や相談につきましては、  
ライオン株式会社  
お客様センター 0120-813-752  
9:00～17:00(土、日、祝日を除く)